

## 対象国皮革分野における開発ニーズ(課題)

- 屠畜されている家畜の余剰生産物である原皮がモンゴル国内で有効利用されていない
- なめし加工技術者(職人)の人材不足
- 生産されている皮革素材の国際競争力がない
- クロムなめし剤の排出処理の問題

## 提案製品・技術【ラセッターなめし技法】とMONYブランディングによるプロセス・イノベーションの実現

- 皮革素材の品質安定:不良素材発生率の低減
- 新しい価値の創造(商品差別化):ハイ・スペック皮革素材とMONYブランド化による商品展開
- ローコストの実現、環境負荷の低減、作業環境の改善

## 本事業の内容

- 契約期間:2022年2月~2023年8月
- 対象国・地域:モンゴル国ウランバートル市、ダルハン県、トゥブ県、セレンゲ県
- カウンターパート機関:タンナー企業、皮革製品メーカー、MLIA、MOFALI
- 案件概要:モンゴル国の皮革産業企業(複数社)とビジネス連携を進め、環境的に安全で高品質な「ラセッターなめし技法」の将来的な技法の普及、ラセッターレザーの製作、付加価値製品開発、市場開拓など一連のブランド化共同事業を進めるための調査を行う。これにより持続的な「ウィンウィン型ビジネスモデル」の形成を目指す。



## 開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- ラセッターなめし技法により、高品質で環境にやさしく安全なMONYレザー生産を推進
- MONYレザーを用いた付加価値製品開発・市場開拓など一連のブランド化共同事業を推進
- 持続可能なウィンウィン型ビジネスモデルの形成

## 対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- 未利用余剰生産物となっている原皮の「モ」国内における有効活用
- 「ラセッターなめし技法」の畜産皮資源活用の高付加価値化の実現
- クロムなめし剤使用から植物タンニンなめし剤への使用切替による環境配慮型産業移行の副次的貢献